

基本目標6 仕事と生活の調和のための環境整備

施策の方向1 仕事と子育ての両立支援

番号	事業名	事業内容	平成30年度実績	評価	課題・今後の方向性	担当課	関連課
1	母親学級・両親学級(再掲)	妊娠、出産、育児に主体的に臨むことができるよう正しい知識の習得機会を提供し、妊娠中の不安の解消を図るとともに、孤立しがちな母親同士が地域で情報交換や相談し合える仲間づくりの場としても活用できるよう支援していきます。 また、男性に育児についての学習や体験の機会を提供することにより、夫婦が協力して育児ができるよう男性の参加を促進します。	* プレマサロン(母親学級)受講者数 延べ103人 * ハロー赤ちゃんクラス(両親学級)受講者数 延べ166人	◎	妊婦体操や沐浴・調乳などの実習を通して、出産や育児に関する知識の普及を図った。また、先輩ママを交えた懇談会を行うことで、参加者同士の情報交換の機会を提供した。母親学級への参加率が低いため、妊婦面接時に事業案内を丁寧に行うなど、周知の機会に努めていく。	子育て相談課	健康課
2	父親向け育児講座	父親への意識の向上と啓発を図るため、子どもへのかかわり方やともに子育てをしていくパートナーとしての役割などについての講座を開催します。	* パパ・ママ講座の開催:参加者20人	◎	参加した保護者の育児参加への動機づけと子どもへの関わり方について具体的に学んでもらうことができた。 引き続き男性保育士の会への講師依頼を継続していくとともに、健康課・企画政策課との合同開催により財政負担の軽減と効果的かつ効果的な講座が実施できるよう努める。	子育て相談課	
3	広報啓発活動による仕事と生活の調和に関する意識啓発	仕事と生活の調和についての理解が進むよう、広報・啓発を充実します。	①羽村市産業祭において、啓発用ポケットティッシュを配布し、ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を行った。 実施日 平成30年11月3日(土)・4日(日) ポケットティッシュ配布数 500個 ②HAMURA-中小企業メールマガジンを活用し、ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を行った。 実績2件(メルマガミニコラムVol.6、Vol.7) ③広報はむらや市公式サイト等にミニコラムを掲載し、ワーク・ライフ・バランスについての理解が進むよう、情報発信を行った。 実績 2回(ミニコラムVol.6、Vol.7)	○	引き続き、市民や事業者に対し、意識啓発を行っていく。	企画政策課	産業振興課
4	女性のための再就職、キャリアアップ応援講座	出産・育児等のために退職した女性が再就職できるよう、就職に有利となるような学習機会を提供します。	職場復帰や地域活動などへの参加意欲を持つ方や、何かを始めるきっかけを模索している方への講座を実施した。 ・女性のキャリアデザイン支援講座 実施日 平成30年9月21日 参加者 12人 ・女性のチャレンジ支援講座 実施日 平成30年9月28日 参加者 12人	○	多様な働き方に対応していくため、内容の充実を図り、引き続き学習機会の提供に努めていく。	企画政策課	産業振興課
5	男女雇用機会均等法や育児・介護休業法などの周知	育児・介護休業法などについて、広報紙やパンフレット等を活用した普及啓発を行い、男性も女性も育児休業制度等が取得しやすい職場環境づくりに努めます。 また、子育てしやすい就労環境づくりに向け、商工会や事業主に対して理解と協力を求めます。	東京都等の関係機関からのリーフレット等による情報提供、市公式サイト等への掲載、HAMURA-中小企業メールマガジンによる情報発信を行った。	○	改正内容などをタイムリーに周知できるように心掛けていくとともに、最新の情報を提供できるよう、情報収集に努めていく。	企画政策課	産業振興課
6	多様な保育事業の提供	保護者が安心して子育てと仕事の両立が図られるよう、認可保育園の建替えにより待機児童の比較的多い低年齢児の定員枠の拡大を図ります。 学童クラブについては、小学校高学年の子どもの利用について、計画期間内に確保していきます。 また、一時預かり事業や休日保育事業、乳幼児ショートステイ事業など、多様な保育事業について周知を図り、子育て家庭のニーズを踏まえた施策を提供していきます。	認可保育園の建て替えにより平成31年度より、低年齢児(0～2歳)を中心に3名の定員拡大を図った。	◎	今後も市民ニーズを捉え、定員の確保や保育事業を実施していく。また、対象施設、利用方法などを引き続き広報、市公式サイト、子育て応援ガイドブック等で分かりやすく周知していく。	子育て支援課	子育て相談課・児童青少年課